

小規模落石の防護柵

SRフェンス実績集

道路沿いに「置くだけ」で
落石と崩土の対策ができます。

製品の特長

- ◎ 小規模落石に対する受け止め性能を検証済み
(落石の大半を占める、約30cm角以下のサイズが対象)
- ◎ フェンスの組立が簡単で、短時間で設置や移設が可能
- ◎ 設置検討に際し、用地買収が不要
- ◎ 大型土のうに比べ、占有幅がほぼ半分(基礎幅57cm)で済むため、通学路(歩道)や道路の幅員を確保し易い
- ◎ 直接工事費は、施工延長1mあたり6.2万円内外*
*R6年7月現在の費用目安です。1mあたり工事費は、施工延長により変動します。
- ◎ 連結延長は最小L=7.5mで、2.5m単位で延長可能
- ◎ 基礎擁壁のみ(高さ80cm)での設置も可
- ◎ 反射材の貼付により、夜間通行時の安全性も向上

※落石跳躍量による柵高さやポケット部についてのご検討など、ご不明点がある場合は別途お問い合わせください。



株式会社 赤城商会

■ 赤城商会施工事例 1

工事名: 単独公共 町道8-21号線 災害復旧工事

発注者様は、台風で被災した法面の追加崩落(路面への土砂流出)を防ぐための工法を探していました。施工性やコスト性に加え、法面の景観を損ないにくいという点でもご評価をいただき、採用となりました。基礎コン打設後、基礎ブロック据付とフェンス組立に要した期間は2日程でした。



工事名	単独公共 町道8-21号線 災害復旧工事
施工日	2020年08月中旬
発注者	長野原町役場
施工場所	群馬県吾妻郡長野原町 大字与喜屋 地内
延長	L=20m + 25m

■赤城商会施工事例2

工事名:安中市道9112号線 小規模落石防護柵設置工事

現場は観光地へ繋がる市道ですが、転石や大量の落ち葉が道路に流出するため、維持管理も課題でした。

「大型土のう」と比較した場合、SRフェンスは道路幅員の確保が容易であり、また維持管理面でも省力化が図れる点で評価され、ご採用いただきました。



工事名	市道9112号線 小規模落石防護柵設置工事
施工日	2020年12月末
発注者	安中市役所松井田支所
施工場所	群馬県安中市松井田町 五料中木 地内
延長	L=40m+12.5m

■赤城商会施工事例3

工事名:国道18号(旧道)社会資本総合整備(防災・安全)(国道防災)

18号の旧道は第二次緊急輸送道路でもあり、めがね橋や熊ノ平駅なども点在する観光道路でもあります。その為、防災点検結果に基づき、災害時にも機能する道路ネットワークの構築を図る為、置き式の落石防護柵として採用されました。



工事名	国道18号(旧道)社会資本総合整備 (防災・安全)(国道防災)
施工日	2023年12月
発注者	安中土木事務所
施工場所	群馬県安中市松井田町 坂本地内
延長	L=190m(計8箇所)

■赤城商会施工事例 4

工事名:国道17号中村交差点立体

工事中の仮設中央分離帯として使用。
施工性が良いため採用となりました。
従来のポリエチレン製の仮設防護柵と比べ基礎ブロックの据付・連結のみの作業です。



工事名	国道17号中村交差点立体
施工日	2023年12月
発注者	関東地方整備局 高崎河川国道事務所
施工場所	群馬県渋川市中村
延長	L=107.5m+202.5m

■ 赤城商会施工事例 5

工事名:高崎市倉渚支所管内小規模落石対策

地域住民の生活用道路となっており、土砂の流出や小規模の落石を防ぎ、安心・安全を確保します。



工事名	高崎市倉渚支所管内 小規模落石対策工事
施工日	2024年3月
発注者	高崎市役所倉渚支所
施工場所	群馬県高崎市倉渚町 権田 地内
延長	L=15m

■ 他県事例

防災備蓄倉庫

「大型土のう」と比較し、山間地の法面風化による落石対策、豪雨による洗堀被害の抑制に有効なことが高く評価され、SRフェンスを試験的に導入いただきました。



工 事 名	防災備蓄倉庫
施 工 日	2020年10月
発 注 者	愛知県新城設楽建設事務所
施工場所	愛知県新城市八束穂
延 長	L=15m

令和3年度 災害復旧工事

法面風化による落石対策として吹付工法を検討されていましたが、小規模施工なことで費用高となってしまうことからSRフェンスをご採用いただきました。



工 事 名	令和3年度 市道深戸梅原線災害復旧工事
施 工 日	2021年2月
発 注 者	岐阜県郡上市役所
施工場所	岐阜県郡上市美並町三戸
延 長	L=10m

— 道路沿いに「置く」だけで落石防護 —

